

2013年12月13日
日本コンサルタンツ株式会社
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
日本工営株式会社

JICA「インド高速鉄道開発計画プロジェクト」の受注・契約について

日本コンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区）、株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区）、日本工営株式会社（本社：東京都千代田区）は、この度、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が行う「インド高速鉄道開発計画プロジェクト」を受注し、2013年12月11日に同機構と契約を締結しました。

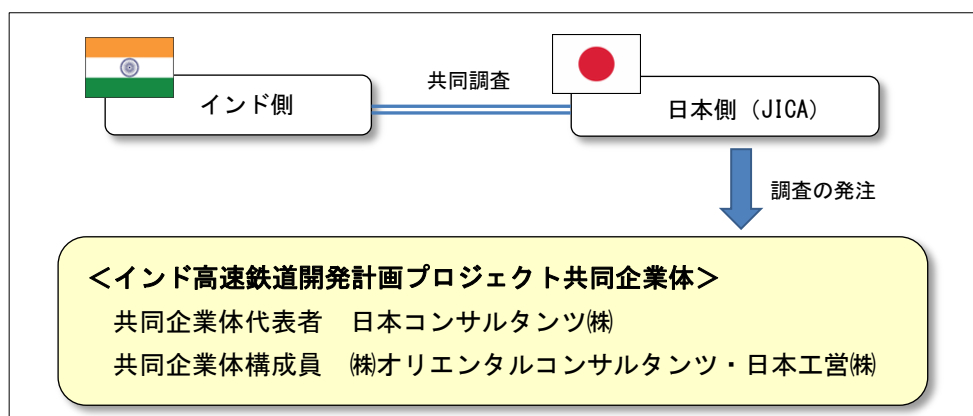
インドでは、近年急速な経済成長に伴い都市間の交通網整備の必要性が高まっており、インド鉄道省によって高速鉄道を整備する候補7路線のプレ・フィージビリティ調査が順次着手されています。

このような状況下、2013年5月の日印共同声明において、両国が「ムンバイ～アーメダバード間」の高速鉄道整備の共同調査を行うことが決定され、同年10月にJICAとインド鉄道省が共同調査に関する覚書に調印しています。

本調査では、「ムンバイ～アーメダバード間」の高速鉄道整備に関して、基本計画や建設計画の策定、需要予測、概算事業費の算出、事業スキームの検討などを含む調査を日本とインドの共同調査形式で実施し、インドの鉄道整備・開発に寄与します。

<本調査の概要>

- 調査実施期間（契約期間）：2013年12月～2015年7月まで
- 調査内容：基本計画や建設計画の策定、需要予測、概算事業費の算出、事業スキームの検討、事業実施及び運行・維持管理に関わる体制の検討、経済財務分析、法制度・技術基準類の検討、環境アセスメント報告の作成等
- 調査体制：下記のとおりです。



【 参 考 】

< 高速鉄道「ムンバイ～アーメダバード間」の概要 >

- 区間：ムンバイ～アーメダバード間
(マハラシュトラ州およびグジャラート州)
- 距離：約 500 km
- 路線図：下記のとおりです



※当該区間は、インド国鉄の近代化に係る専門家委員会の報告書において、インド国で最初に建設される高速鉄道として特定されています。

※当該区間は、2009年度にインド・RITES社及びフランス・シストラ社等によりプレ・フェージビリティ調査が実施され、2012年度には日本・日本コンサルタンツ(株)及び(株)オリエンタルコンサルタンツが事業性に関する調査を実施しています。